

特63  
211

體操遊戲講習會編纂

# 女子遊戲法

東京 內外出版協會

明治  
29 5 29  
丙午



緒言

女子運動法中最も優美にして且體  
育に適ふものは舞踏的遊戯を除き  
て夫れ何かあらん

此書小篇たりと雖も數種の舞踏方  
法を述ぶ



江湖の紳士淑女よ女子體育に志し  
あらば乞ふ試みに之を演舞せられ

よ

明治丙午櫻花の節

編者識す

凡例

一此遊戯を演舞する前後に於て臂を肩より  
上に擧ぐる運動をなすべし如何となれば  
總て遊戯は臂を高くすること乏しきもの  
なればなり

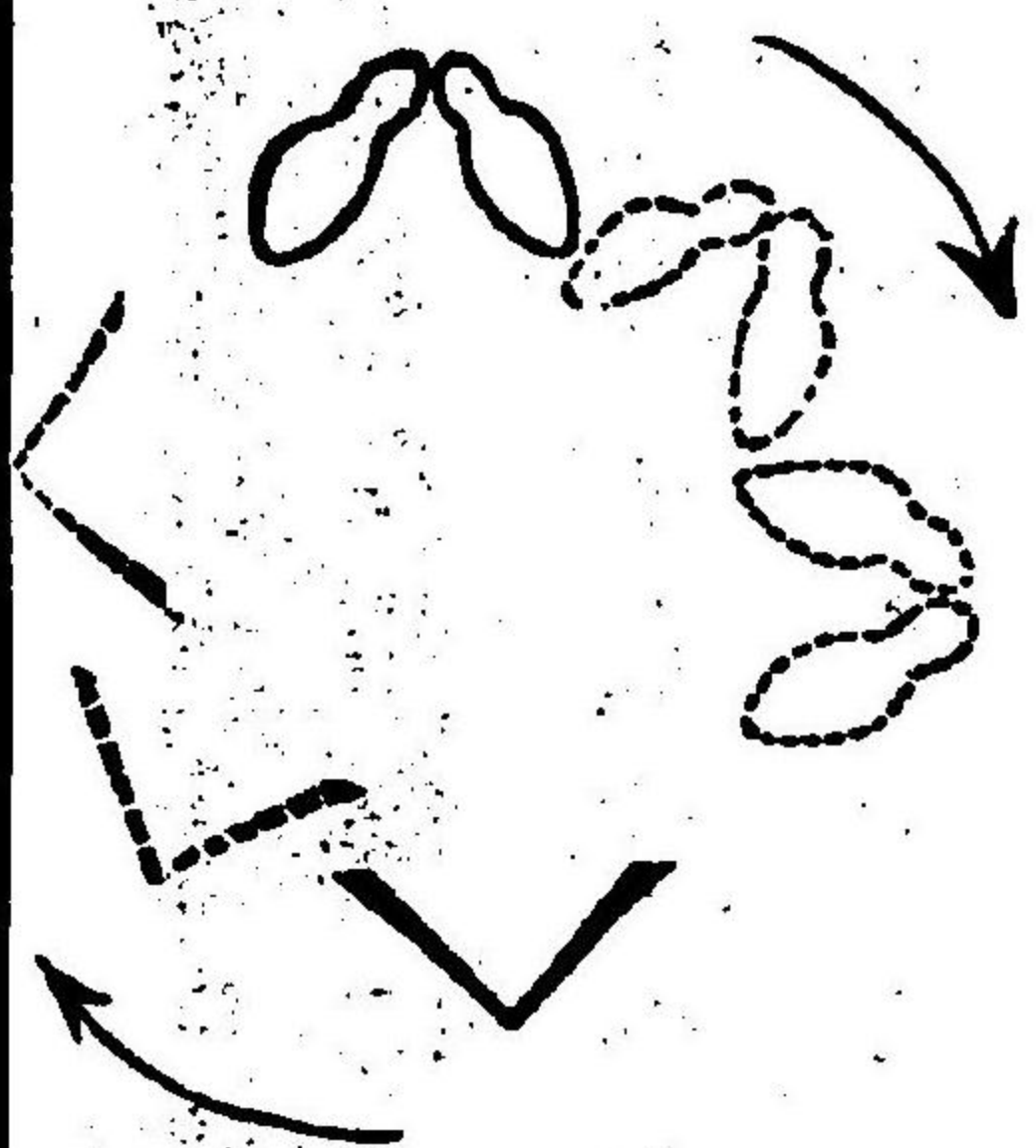
一學校外舞踏會に於て男女打ち混じて演舞  
する場合は右生は女子左生は男子なり  
然る場合には男子は必ず白色又は淡色の  
手袋を着用すべし  
一步を進むるは必ず右足より始む



一 演舞方法を會得したる後は樂器を用ふるを良しとす

一 小間隔とは右手を伸して間隔を取るを云ふ

一 右回りの説二様あり本書取る所左圖の如し



用語の解

一 クットリール 方舞又は方形運動と云ふ義即ち八人方形に「行ふを云ふ

一 カレドニア 一カレドニアは國名ならんかとの事

一 コチロン 八人にて行ふ舞踏の名又は舞踏樂譜の名

一 トップ 頂と云ふ義即ち第一伍を云ふ



一ボットム

底と云ふ義即ち第二伍を云ふ

一サイド

側と云ふ義即ち第三伍第四伍と云ふ

一ライト、サイド

右側と云ふ義即ち第三伍を云ふ

一レット、サイド

左側と云ふ義即ち第四伍を云ふ

一セツト

對蝶番揃（たいてつばんぞり）と云ふ義即ち互に相向ひて同法を行ふを

一ターン

云ふ

周ると云ふ義即ち回るを

云ふ

一チエイン

連鎖と云ふ義

一レデイス、チエイン

貴女の連鎖と云ふ義即ち

イン

右生の連鎖を行ふを云ふ

一ガロップ

走ると云ふ義

一フォーア、バック

前後すると云ふ義即ち前

進後退するを云ふ

一ライン

線と云ふ義即ち一列横隊



となりて手を連ぬるを云ふ

一 バランス 平均と云ふ義

一 ムリネ 風車と云ふ義即ち十字旋

回を云ふ

一 グランド、チエ 大連鎖と云ふ義

イン

一 ダブル、チエイ 重複したる右生の「チエイ

ン

ン」を云ふ

一 シヤッセ、クロア 交叉禮を云ふ

セ

一 グランド、プロ 大散歩と云ふ義即ち大楕

ネード 圓形に歩むを云ふ



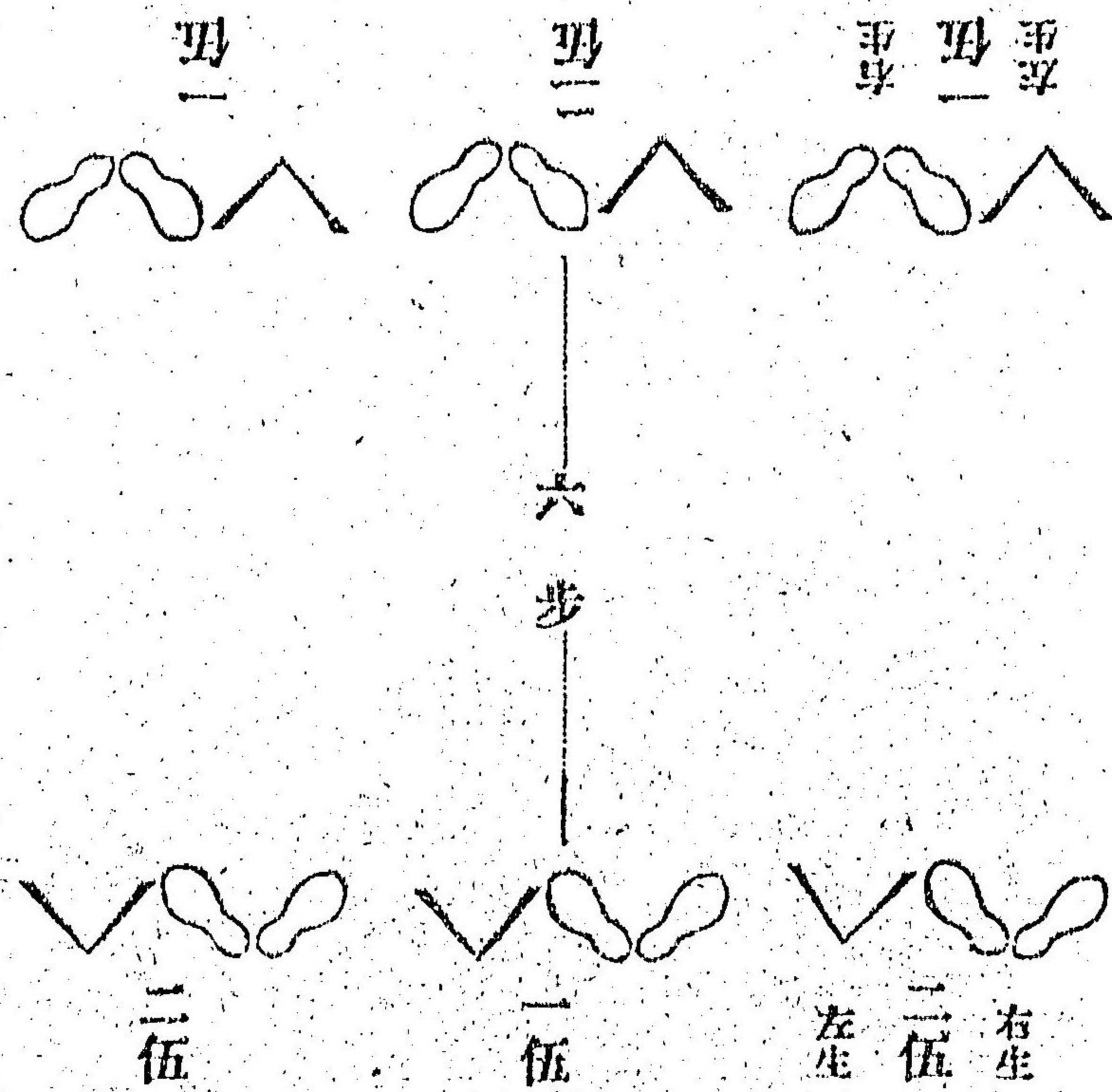
# 女子遊戯書

## 目次

第一章	クォトリール……………	一
第二章	カレドニアアンクァット リール……………	一五
第三章	コチロン……………	三一
第四章	新式クォトリール……………	四五



(一) 圖 列 排





健康の精神は健康の  
軀體に存す

(格言)

遊戯は天然の運動な  
り

(格言)

# 女子遊戯書

講師 松田正典 校閲

體操遊戯講習會 編纂

## 第一章 クワトリール

### 準備

全生徒を一列横隊とし小間隔を取り前列生  
を六歩前進せしめ後ち一二番號を附し次に  
前列生をして右轉回せしむ

[用意]の令にて一番生と二番生即ち奇數生と



# 女子遊戯書

講師 松田正典 校閲  
體操遊戯講習會 編纂

## 第一章 クワットリール 準備

全生徒を一列横隊とし小間隔を取り前列生を六歩前進せしめ後ち一二番號を附し次に前列生をして右轉回せしむ  
〔用意〕の令にて一番生と二番生即ち奇數生と

健康の精神は健康の  
軀體に存す

(格闘)

遊戯は天然の運動な

(格闘)



偶數生とは互に相寄りて演舞の用意をなす

豫備 黙禮法

八呼間 左生は右足を右後方に運び左足を  
以て右足左方に弧形を畫き後方に引き已  
の伍の者と黙禮し右足を左足に合し更に  
右足を前方舊位置に出し左足を之に合す  
但し右生は同要領にて反對の方向に行  
ふ

八呼間 右足を右前斜方に運び左足を合し  
後ち右足を少しく右方に運び左足を以て  
右足左方に弧形を畫き後方に引き左隣伍  
の右生と黙禮し右足を左足に合し更に右  
足を舊位置(最初の位置)に復し左足を之に  
合す

但し右生は同要領にて反對の方向に之  
を行ふ

以上は女子の禮法にして男子は直立して兩  
足を揃へ上體を前方に屈して黙禮を行ふ  
左右翼の者は隣伍に黙禮すべき者なきに依  
り對岸伍の翼生と黙禮を行ふべし



## 第一演習

第一 八呼間各伍の右生左生互に右手と右手、左手と左手とを前にて取り前進して位置を交換す

但し各伍の右生内方を通る

第二 八呼間各伍前法に従ひ前進して舊位置に復す

但し同上

第三 八呼間自伍の左右生「セット」を行ふ

第四 八呼間同上二人兩手を取り「ターン」を

行ふ

第五 十六呼間右生の「チェイン」を行ふ

第六 八呼間初めの四呼間各伍は右手と右手、左手と左手とを取りたるまゝ兩足尖(右

生は右足を左生は左足を前に出し)にて右斜方に「ガロップ」(摺足)し對岸伍の舊位置に

達し次の四呼間にて他伍と對向す

第七 八呼間第二の要領に従ひ舊位置に復す

以上六十四呼間、同法を再舞す



## 第二演習

十六呼間休止す

第一 八呼間第一伍の右生第二伍の左生右斜方に「フ<sup>ォ</sup>ーア、バック」〔三步前進して舊位置に復る〕を行ふ

第二 八呼間同上の二人互に左方を通りて位置を交換す

第三 八呼間同上の二人第一の如く「フ<sup>ォ</sup>ーア、バック」を行ふ

第四 八呼間同上の二人第二の如く前進して舊位置に復る

第五 八呼間自伍の左右生「セツト」を行ふ

第六 八呼間同上二人兩手を取り「ターン」を行ふ

以上四十八呼間第一伍の左生第二伍の右生次に第一伍の右生第二伍の左生次に又第一伍の左生第二伍の右生とより始め之を演舞す

## 第三演習

十六呼間休止す



第一 十六呼間初めの八呼間第一伍の右生  
 第二伍の左生と前進して互に右手を取り  
 右回りし次の八呼間互に左手を取り左回  
 りし右手を以て自伍の者の右手を取り「ラ  
 イン」を作る

但し第一伍の左生第二伍の右生は少し  
 く内方に進む

第二 八呼間皆右足より「バランス」を行ふ

第三 八呼間各伍は對岸に往きて相對向す

第四 八呼間第一伍の右生第二伍の左生「フ

ォーア、バック」を行ふ

第五 八呼間同上二人前進し黙禮して復る

(熟練の後には互に左方より對手の背部を回  
 りて復る)

第六 八呼間各伍「フォーア、バック」を行ふ

第七 八呼間各伍前進して(右生は内方を通  
 る)舊位置に復る

以上六十四呼間第一伍の左生第二伍の右生  
 と行ひ次に第一伍の右生と第二伍の左生次  
 に又第一伍の左生と第二伍の右生と之を演



舞す

#### 第四演習

十六呼間休止す

第一 八呼間第一伍「フオーア、バック」を行ふ

第二 八呼間第一伍對岸に進み右生を第二

伍に渡す(右生は第二伍左生の左方に着く)

第三 八呼間第二伍と第一伍の右生と三人

にて「フオーア、バック」を行ふ

此時第一伍の左生は背進して舊位置に復る

第四 八呼間同上、三人前進して兩右生を一

回り半(内方より外方に回らしむ)せしめて

第一伍左生の左右側に着かしむ

第五 八呼間第一伍と第二伍右生と「フオー

ア、バック」を行ふ

此時第二伍左生は背進して舊位置に復る

第六 八呼間同上三人前進して對岸に往き

四人手を繋ぐ

第七 八呼間各伍「ガロップ」にて對岸の位置に



着く

第八 八呼間各伍舊位置に復る

但し各右生は内方を通る

以上六十四呼間第二伍次に第一伍次に又第二伍より同法を以て之を再舞す

### 第五演習

十六呼間休止す

第一 十六呼間列の總員手を聯ねて「フォー

ア、バック」を行ふこと二回

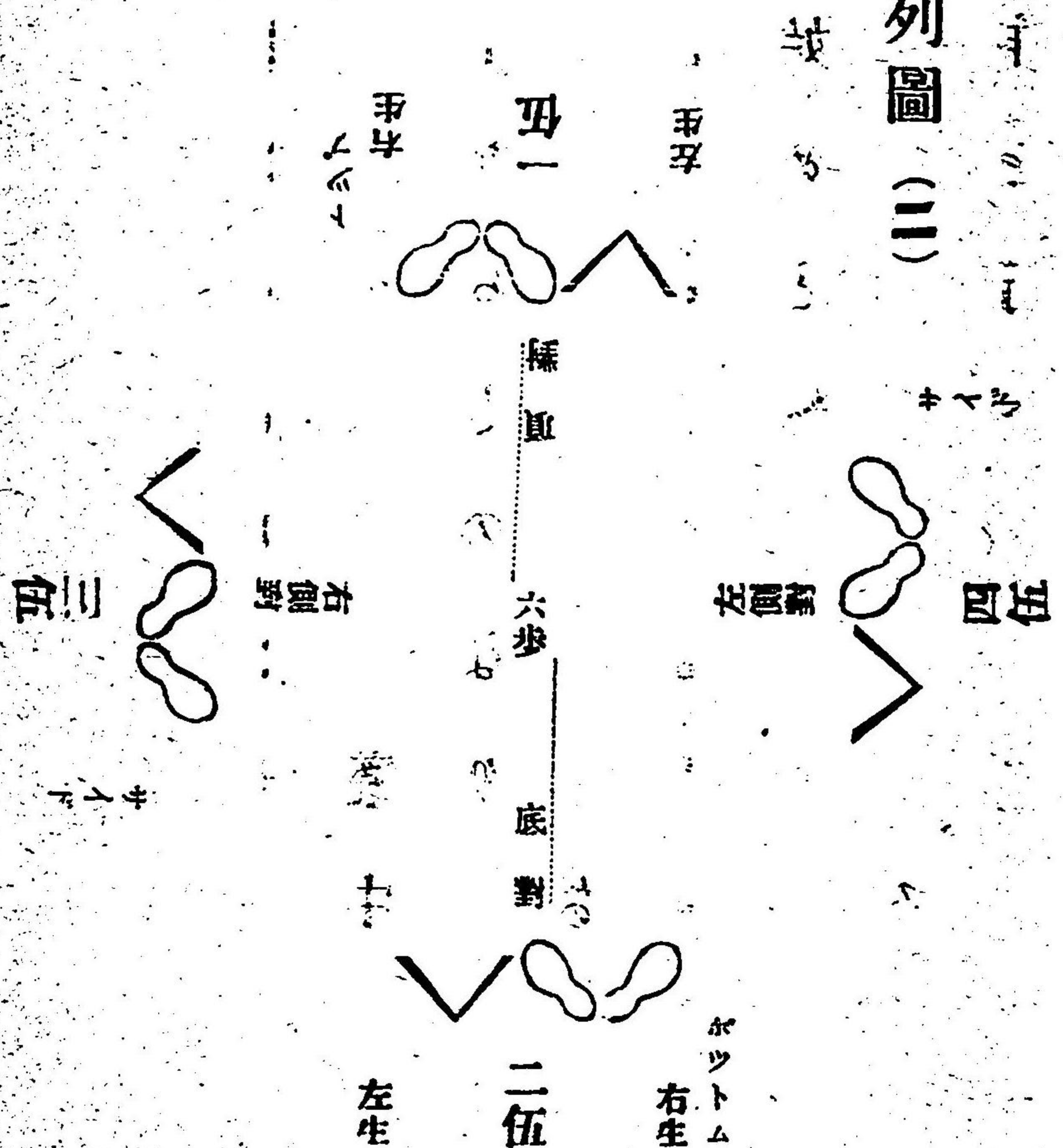
第二 四十八呼間第二演習の如く行ふ

以上六十四呼間第一第二の如く(第一伍左生第二伍右生次に第一伍右生第二伍左生次に又第一伍左生第二伍右生より始む)之を再舞す

但し最終に第一の如く「フォーア、バック」を行ふこと二回



排列圖 (三)





遊戯體操は醫藥中最  
上なるものなり

(ホフマン氏の言)

始めと終りに於て  
臂を肩より上ぐる動  
作を行へ

(注意)

## 第二章 カレドニアン

### クワトリール

#### 準備

全生徒を二列正面に整列せしめ整頓の後ち  
一より四までの番號を附し右向きせしめ側  
面行進中排列圖三の如く排列せしむ  
但し室の出入口に遠き處を第一伍の位置  
と定む

#### 豫備 默禮法



「クォトリール」の部に同じ就きて観るべし

### 第一演習

第一 八呼間第一伍第二伍中央に進み出て

右手を十字形に取り右方へ「ムリネ」十字旋

回を行ふ

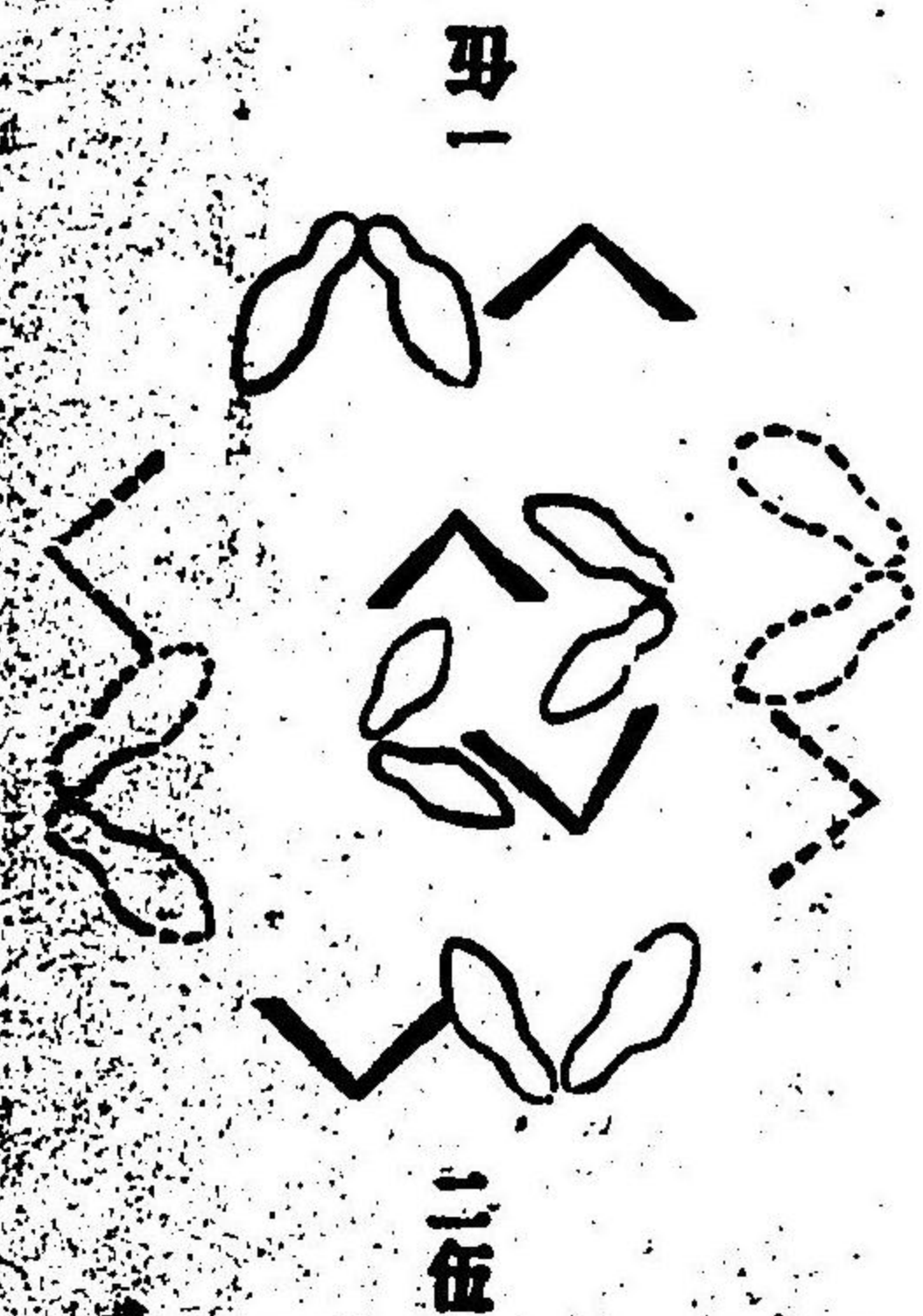
(第一伍第二伍の

右生互に右手を

取り第一伍第二

伍の左生も互に

右手を取る)



第二 八呼間同上四人左手と取り替へ左方

「ムリネ」十字旋回を行ふ

第三 八呼間己れの伍の者と「セット」を行ふ

第四 八呼間己れの伍の者と互に兩手を取

りて「ターン」(右回り)を行ひ舊位置に着

く

第五 十六呼間第一伍第二伍と右生の「チェ

イン」(レデイス、チェイン)を行ふ

但し終りに伍の者と右手と右手、左手と

左手とを取る



第六 八呼間第一伍第二伍共に「ガロップ」して其位置を交換す(互に右方を通る)

第七 八呼間第一伍第二伍右左になりて舊位置に復る(右生は對伍の中間を通る)

以上六十四呼間第三伍と第四伍と行ひ次に第一伍と第二伍と行ひ次に又第三伍と第四伍と之を演舞す

## 第二演習

十六呼間休止す

第一 八呼間第一伍の左生「フオーア、バック」を

行ふ

第二 八呼間同上を反復す

第三 八呼間各伍の左生四人(内方へ)は左隣伍の右生(外方へ)と相向ひて「セット」を行ふ

第四 八呼間左生は其左隣伍の右生と(兩手を取り)皆「ターン」を行ひ左向きとなり前きに「ターン」せし右生を其右側に連れ圓形に行進する準備をなす(體前にて右手と右手、左手と左手とを取る)

第五 十六呼間二列縦隊にて圓く行進して



左生の舊位置に復る(右生は右隣伍の右生の位置を占む)

以上四十八呼間第二伍左生より始め次に第三伍左生次に第四伍左生より始め之を演舞す(最後に右生各自は舊位置に復り得べし)

### 第三演習

十六呼間休止す

第一 八呼間第一伍の右生と第二伍の左生は「フ・ォ・ー・ア、バック」を行ふ

第二 八呼間第一伍の右生と第二伍の左生

と相向ひて進み中央にて両手を取り皆右方へ「ターン」して手を放ち殆んど舊位置に復る

第三 八呼間第一伍は互に右手を取りたる

まゝ第二伍の間を通りて位置を交換す

第四 八呼間第二伍は互に右手を取りたる

まゝ第一伍の間を通りて舊位置に復る

第五 八呼間皆其隣りの者と相向ひて「セツ

ト」を行ふ

第六 八呼間両手を取り右方へ「ターン」を



行ひ其片手(右生の右手、左生の左手)を放つ  
 第七 八呼間各伍(八人)手を繋ぎ圓形となり  
 「フォーア、バック」を行ふ

第八 八呼間隣りの者と手を放ちて己れの  
 伍の者と「ターン」を行ふ

以上六十四呼間第三伍の右生第四伍の左生  
 次に第一伍の左生第二伍の右生次に又第三  
 伍の左生第四伍の右生とより始め之を演舞  
 す

#### 第四演習

十六呼間休止す

第一 八呼間初めの四呼間第一伍の右生と

第二伍の左生と互に三步進みて黙禮す

(次の四呼間に舊位置に復る)

次の四呼間第一伍の左生と第二伍の右生  
 と互に三步進みて黙禮す(一步大きく戻り  
 て自伍生の前に復る)

第二 八呼間第一伍第二伍は相向ひて「ター  
 ーン」を行ひ其終りに於て隣生(右生と右隣  
 伍の左生、左生と左隣伍の右生)と互に相對



向す

第三 八呼間各伍は相對向せる者と兩手を  
取り互に早く右回りして手を放ち左生(右  
生)は前方の左(右)生の位置を占む(此際相對  
向せる者は(一)にて右足を少しく右斜後方  
に引き(二)にて左足を右足に接し(三)にて左  
足を少しく左斜後方に引き(四)にて右足を  
左足に接し(五)にて右足を大きく斜前方へ  
出し兩手を取り合せ(六)(七)(八)回轉して隣伍  
の位置に進む

第四 八呼間新たに對向する者と前法を行  
ふ

第五 八呼間又前法を行ひ舊位置の對岸に  
於て己れの伍の者と相會するに至る

第六 八呼間初めの四呼間は「バランス」を行  
ひ次の四呼間「ターン」を行ひ終りに右手  
と右手、左手と左手とを取り二列縱隊(左生  
の來りし方向に向く)となる

(左生は内方、右生は外方に在り)

第七 十六呼間圓形の二列縱隊にて其發足



點(舊位置の對岸)まで一巡して停止し皆内方に向く

但し熟練の後には「ガロップ」にて行ふを良とす以上六十四呼間第一伍の左生第二伍の右生次に第三伍の右生第四伍の左生次に又第三伍の左生第四伍の右生とより始め之を演舞す

### 第五演習

十六呼間休止す

第一 十六呼間第一伍は互に兩手を取りたる儘徐に組の内側を右方より圓く行進して舊位置に復る

(ガロップ)にて行ふも宜し

第二 八呼間各伍右生(四人)中央に三步進み默禮をなして舊位置に復る

第三 八呼間各伍左生(四人)中央に三步進み默禮をなして舊位置に復る

第四 十六呼間各伍「セット」「ターン」を行ふ

第五 十六呼間「グラウンド、チェイン」をなして進み舊位置の對岸にて己れの伍の者と相



逢ふに至れば相對向して默禮をなし後ち  
圓形の二列縱隊(右生は左生の右側に在り)  
を作る

第六 八呼間二列縱隊の儘行進して舊位置  
に復る

第七 八呼間各伍は皆舊位置にて互に右手  
を取り右方へ一回りし舊位置に復す

第八 十六呼間各伍右生(内方へ)は左方へ進  
み左隣伍左生(外方より)の進み來るに逢ふ  
時互に右手を取り右方へ一回りし舊位置を

通り過ぎ各伍右生(外方へ)は右方へ進み右  
隣伍左生(内方より)の進み來るに逢ふ時互  
に右手を取り右方へ一回りして舊位置に復  
る

以上九十六呼間第二伍より始め次に第三伍  
次に第四伍より始め之を演舞す







運動を忌む者は運動  
必要の證なり

(マクワレン氏の言)

能く勉め能く遊べ

(格言)

### 第三章 コチロシ

#### 第一演習

十六呼間に各自黙禮を爲すべし

但し其方法は前に在り

第一 八呼間第一伍と第二伍と右左になり  
て進み其位置を交換す

第二 八呼間第一伍と第二伍と右左になり  
て舊位置に復る

第三 十六呼間第一伍第二伍は其右隣伍と  
右生の「チェイン」を行ふ



第四 八呼間各伍八人とも手を取り圓形となり「フォーア、バック」を行ふ

第五 八呼間己れの伍の者と兩手を取り右方へ「ターン」を行ふ

第六 十六呼間皆圓形の二列縱隊となり右方より回りにて舊位置に復す

以上六十四呼間第三伍第四伍次に第一伍第二伍(此際の「チェイン」は左隣伍と行ふ次に又

第三伍第四伍とより始め之を演舞す  
此際の「チェイン」は右隣伍と行ふ)

第二演習

十六呼間休止す

第一 八呼間第一伍と第二伍と相向ひて「フォーア、バック」を行ふ

第二 八呼間第一伍と第二伍は右左になりて其位置を換ふ

第三 八呼間第一伍と第二伍と右左になりて舊位置に復る

第四 十六呼間各伍右生の「ムリネ」を行ふ  
同時に第一伍の左生は右隣伍即ち第三伍



の左生と又第二伍の  
右生も右隣伍即ち第  
四伍の左生と其位置  
を交換し直ちに復る

(大「セット」とも云ふ)

第五 八呼間己れ

の伍の者と「タ

ーン」を行ひ舊位

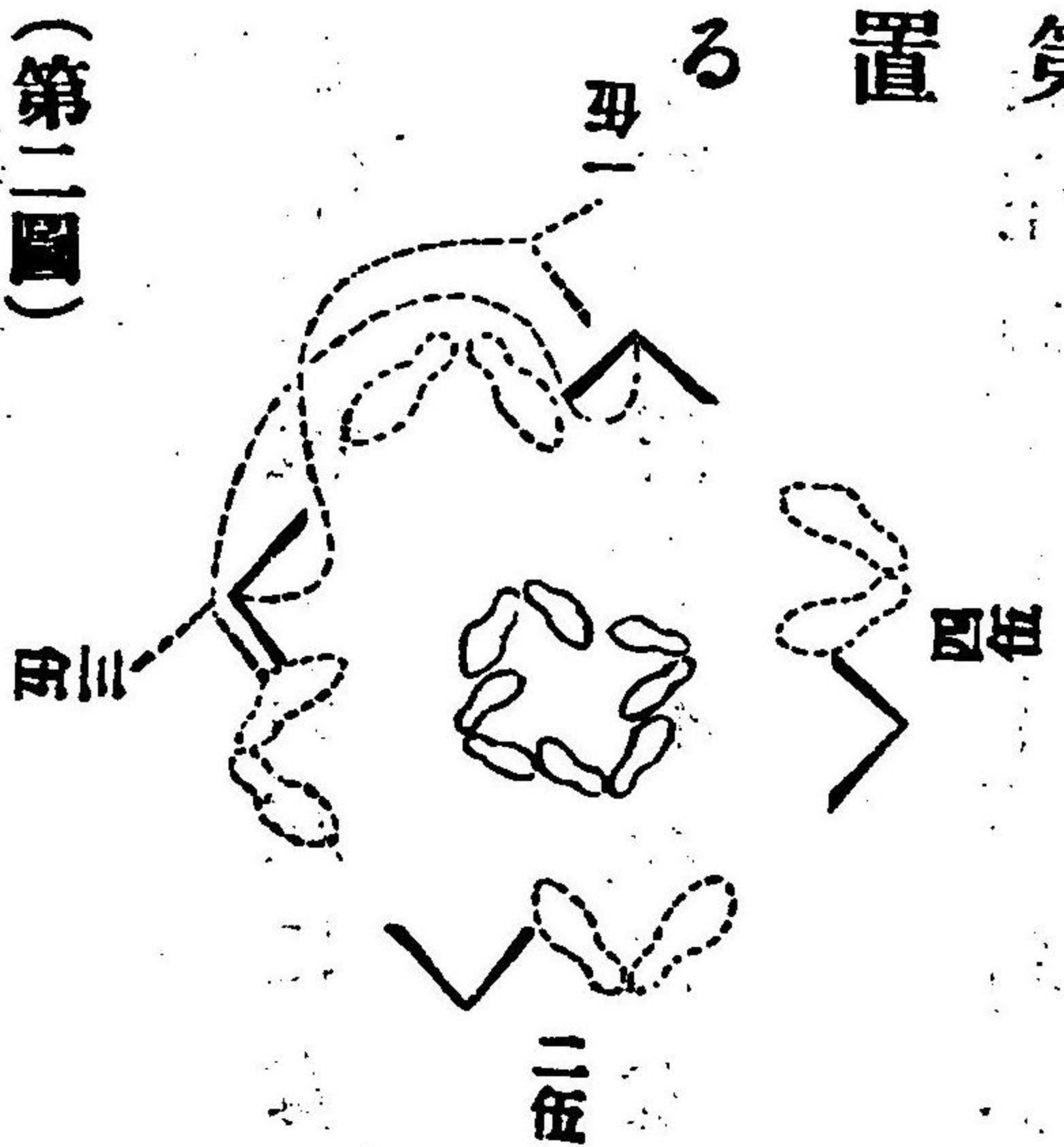
置に復る

以上四十八呼間第三伍第四伍とより始む

但し此際の「ムリネ」は各伍左生之を行ふ

同時に第三伍の右生は第二伍の右生と又第  
四伍の右生は第一伍の右生と其位置を交換  
し直ちに復る

又第一伍第二伍と行ひ次に第三伍第四伍と  
之を演舞す(第一伍第二伍と行ふ時は右生の  
「ムリネ」第三伍第四伍と行ふ時は左生の「ムリ  
ネ」なり而して此際は總て左隣生と位置を換  
ふるものとす)



### 第三演習



十六呼間休止す

第一 八呼間初め

の四呼間は第一

伍と第二伍と

其右側伍に往

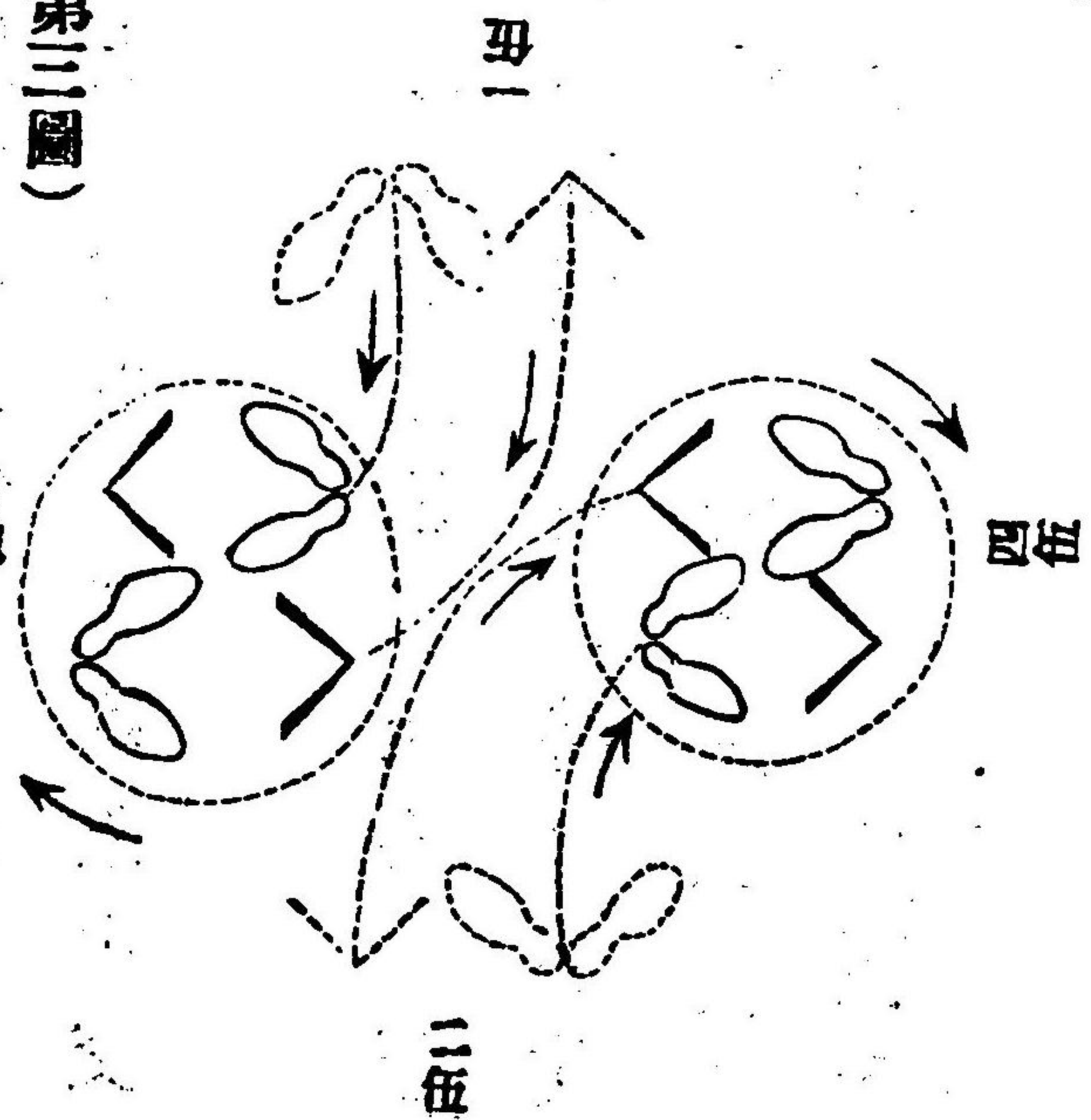
き黙禮し次の

四呼間直ちに

四人手を取り

圓形となりた

るまゝ右方へ回る



(第三圖)

第二 八呼間初めの四呼間は圓形のまゝ左

方へ回りて黙禮し次の四呼間速歩にて舊

位置に復る

第三 十六呼間第一伍第二伍右生の「チエイ

ン」を行ふ

第四 十六呼間各伍の右生は中央に出で「ダ

ブル、チエイン」を行ふ

第五 十六呼間圓形の二列縦隊となり右方

より巡りて舊位置に復る

以上六十四呼間第三伍第四伍次に第一伍第



二伍次に又第三伍第四伍とより始め之を演舞す

但し二回目はその左隣伍へ行くものとす

第四演習

十六呼間休止す

第一 十二呼間中初めの四呼間第一伍は第三伍に行き黙禮す(第一伍左生は直に舊位置に復る)次の四呼間第一伍右生は第三伍と三人にて兩手を取り右回りし次の四呼間同上三人左回りす

此際第三伍左生は舊位置に復る但し左回りを始むる時(以下同じ)

第二 八呼間中初めの四呼間第一伍第三伍右生は第二伍と合し右回りし次の四呼間同上四人左回りす

第三 八呼間中初めの四呼間第一伍第二伍第三伍右生三人は第四伍と合し右回りし次の四呼間同上五人左回りす

第四 八呼間中初めの四呼間各伍右生は第一伍左生と合し右回りし次の四呼間同上



五人左回りす

第五 十二呼間中初めの四呼間各伍右生中央に圓形を作り右回りし次の四呼間同上四入左回りし又次の四呼間に各自舊位置に復る

第六 十六呼間右生中央に進み「ムリネ」十字旋回を右方へ行ひ次に左方へ行ふ

此際第一伍左生は第三伍左生と第二伍左生は第四伍左生と殆んど位置を換ふる迄進み復る

第七 十六呼間各伍「セツト」「ターン」を行ふ

第八 十六呼間二列縦隊にて一週す

以上九十六呼間各伍順次に之を演舞す

但し第二、四回目時は左隣の左生と位置を換ふ

### 第五演習

十六呼間休止す(隣伍と相對して準備を爲す)

第一 八呼間各伍右生は皆其右隣伍の左生と「バランス」及歩行回轉を爲し前進す

但し左生は其位置にありて進まず右生



は他の右生の舊位置に進む

第二 二十四呼間即ち八呼間づゝ三回各右生と「バランス」を行ひ右生は舊位置に復る

〔ガレドニアン、クワトリール〕第四演習第三を参照すべし

第三 十六呼間右生四人中央に出で「ダブルチエイン」を行ふ

第四 十六呼間圓形の二列縦隊となり右方より巡る

第五 三十二呼間「グラランド、チエイン」を行ふ  
 (中央及び舊位置にて己れの伍の者と黙禮す)

第六 十六呼間自伍に「セット」「ターン」を行ふ  
 以上百十二呼間各伍左生は前の要領に従ひ皆其左隣伍の右生と「バランス」を以て之を始む

右二回之を復舞す



第四章 新式クワトリール

第一演習

(排列圖一)

第一 八呼間各伍の右生左生共に右手を前に取り前進し(對手と遇ふ處にて右手と右手を取り直ちに放ち又自伍の者と左手を取る)て位置を交換す

第二 八呼間各伍前法に従ひ前進して舊位置に復す

第三 十六呼間右生は内方に左生は外方に「セット」(バランス様)して互に右手を取り右回



りす

四六

第四 十六呼間右生の「チエイン」を行ふ

第五 八呼間初めの四呼間各伍は右手と右手、左手と左手とを取りたるまゝ、兩足尖にて右斜方に「ガロップ」摺足し對伍の舊位置に達し次の四呼間にて他伍と對向す

第六 八呼間前法の要領に従ひ舊位置に復す

以上六十四呼間第三伍第四伍次に第一伍第二伍次に又第三伍第四伍と之を演舞す

## 第二演習

十六呼間休止す

第一 八呼間第一伍の左生と第二伍の右生と「フォーア、バック」を行ふ

第二 八呼間第一伍の左生は第二伍の右生と「フォーア、バック」(右斜方に)を行ふ

第三 八呼間第一伍の左生と第二伍の右生は互に左方に避けつゝ前進して其位置を交換す

第四 十六呼間中初めの八呼間に同上二人

四七



舊位置に復り自伍生に對面し次の八呼間「バランス」を行ふ

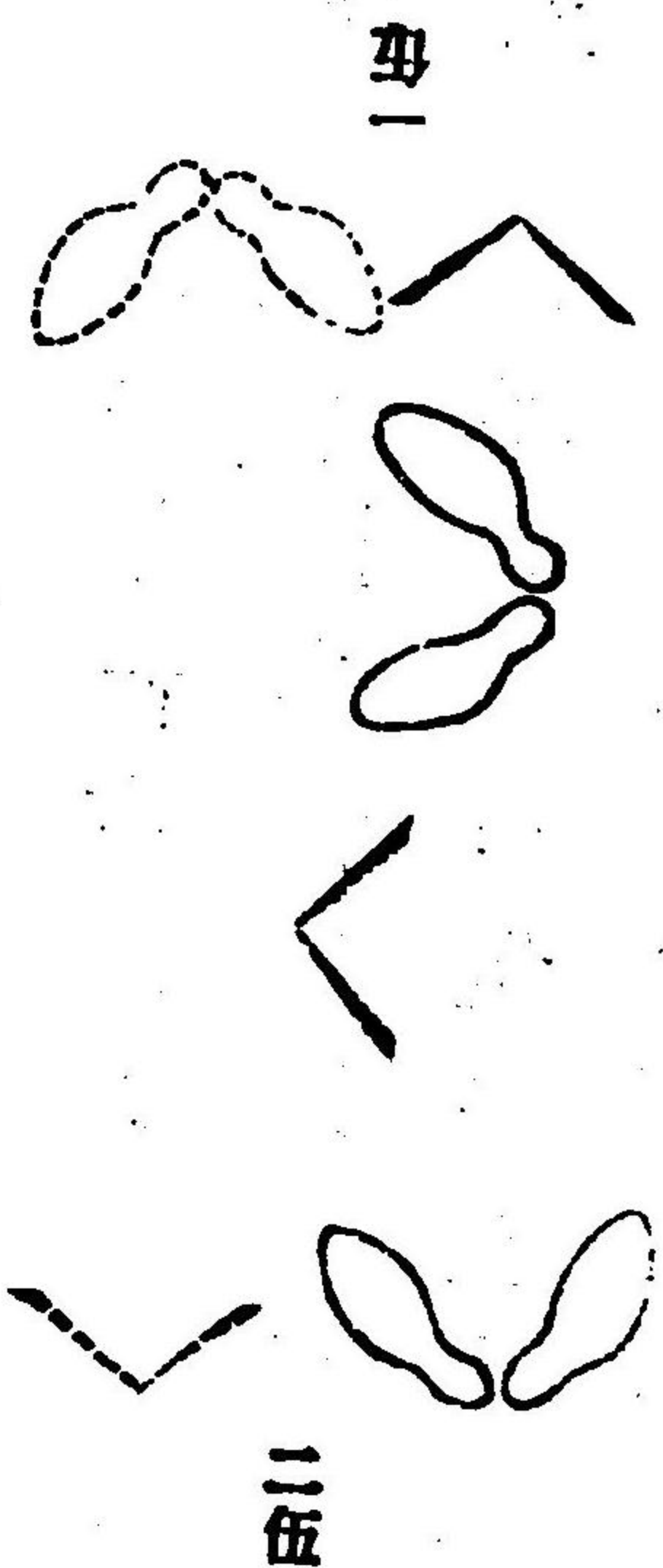
第六 八呼間互に右手を取りて右方へ「ターン」を行ひ舊位置に復す

以上四十八呼間第一伍の右生と第二伍の左生と之を復舞す

### 第三演習

十六呼間休止す

第一 八呼間第一伍の左生と第二伍の右生と前進して互に右手を取り通り過ぎ之を



(第四圖)



放ち殆んど對岸に達して相向ふ



第二 八呼間二人對岸の現位置より進み出て互に左手を取り通り過ぎ(此時は手を放たず)其外側なる右手にて自伍の者と右手を取り合ひ「ライン」を作る

但し第一伍の右生第二伍の左生は少しく内方に進む

第三 八呼間皆右足より「バランス」を行ふ

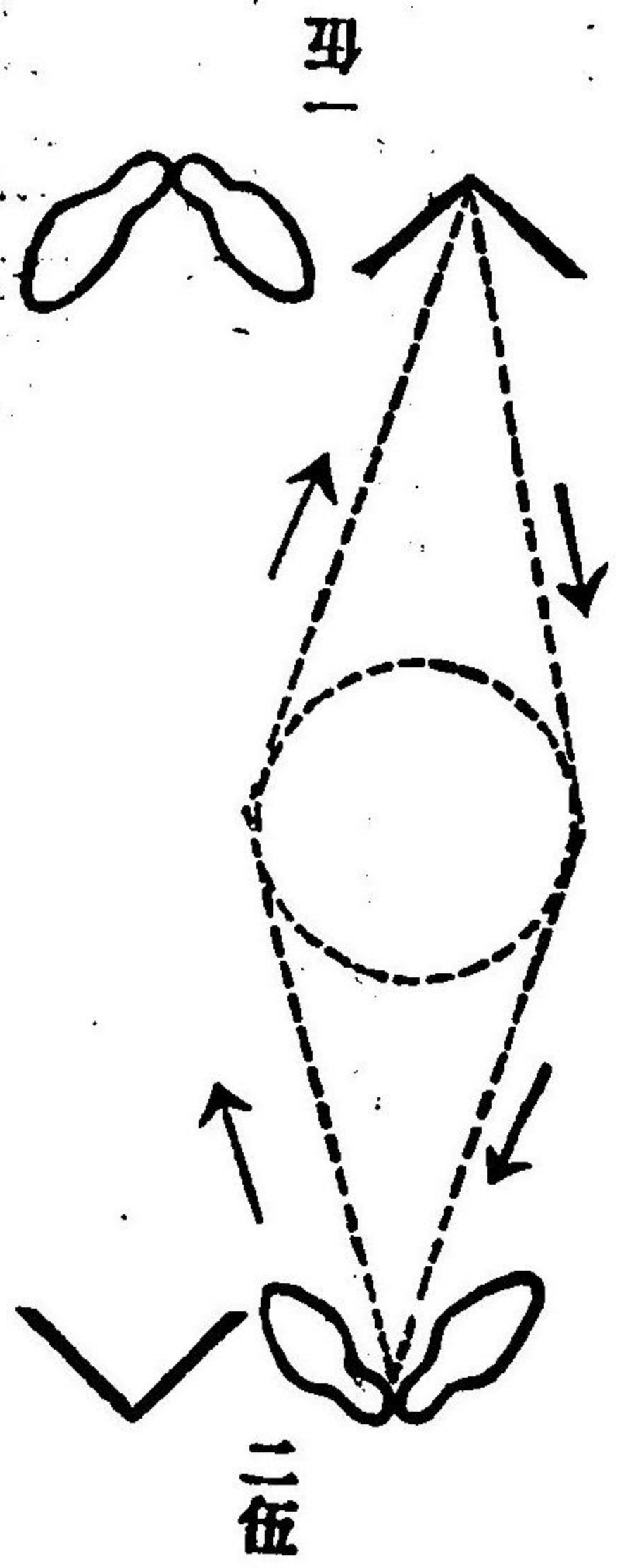
第四 八呼間各伍は對岸に往きて相對向す

第五 八呼間第一伍の左生第二伍の右生「フ

ォーア、バック」を行ふ

第六 八呼間第一伍の左生と第二伍の右生

(圖 五 第)



とは相向ひ互に左方より弧形に進み右方へ對手の背を巡りて後と戻りをなす

第七 八呼間各伍「フォーア、バック」を行ふ



第八 八呼間各伍は前法の要領に従ひ舊位置に復す(中央にて互に手を取り合ふ)  
 以上六十四呼間第一伍の右生と第二伍の左生とより始めて之を復舞す

第四演習

十六呼間休止す

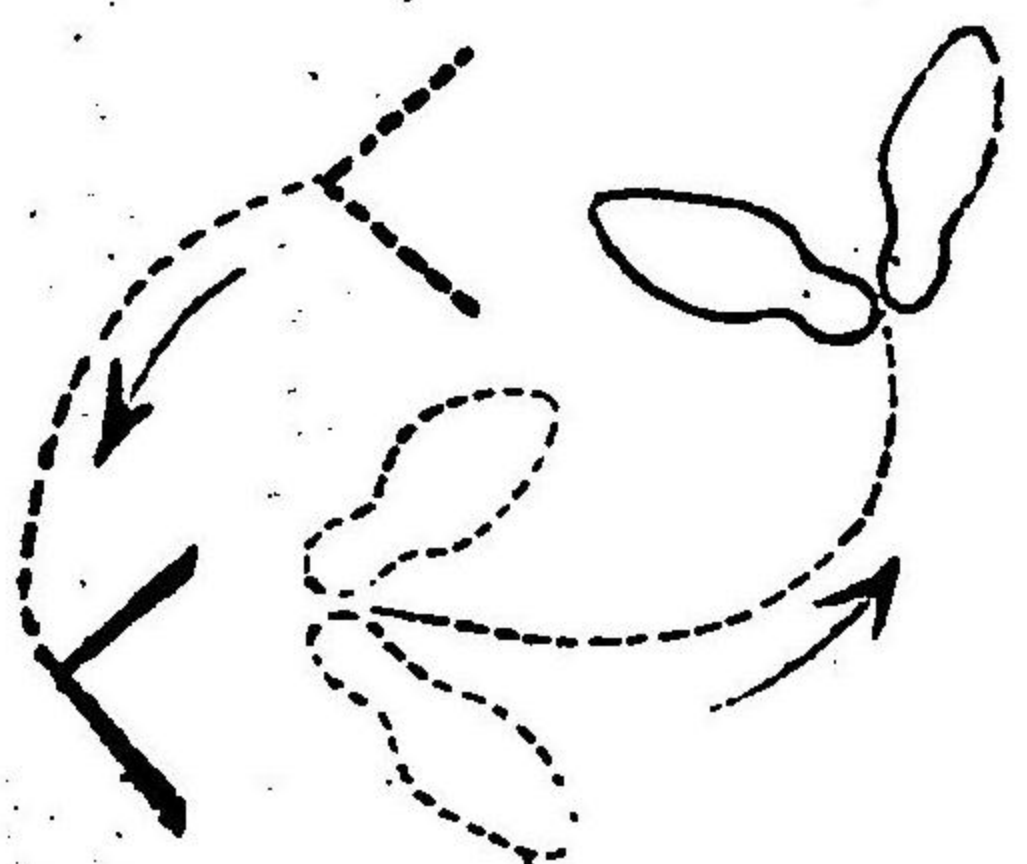
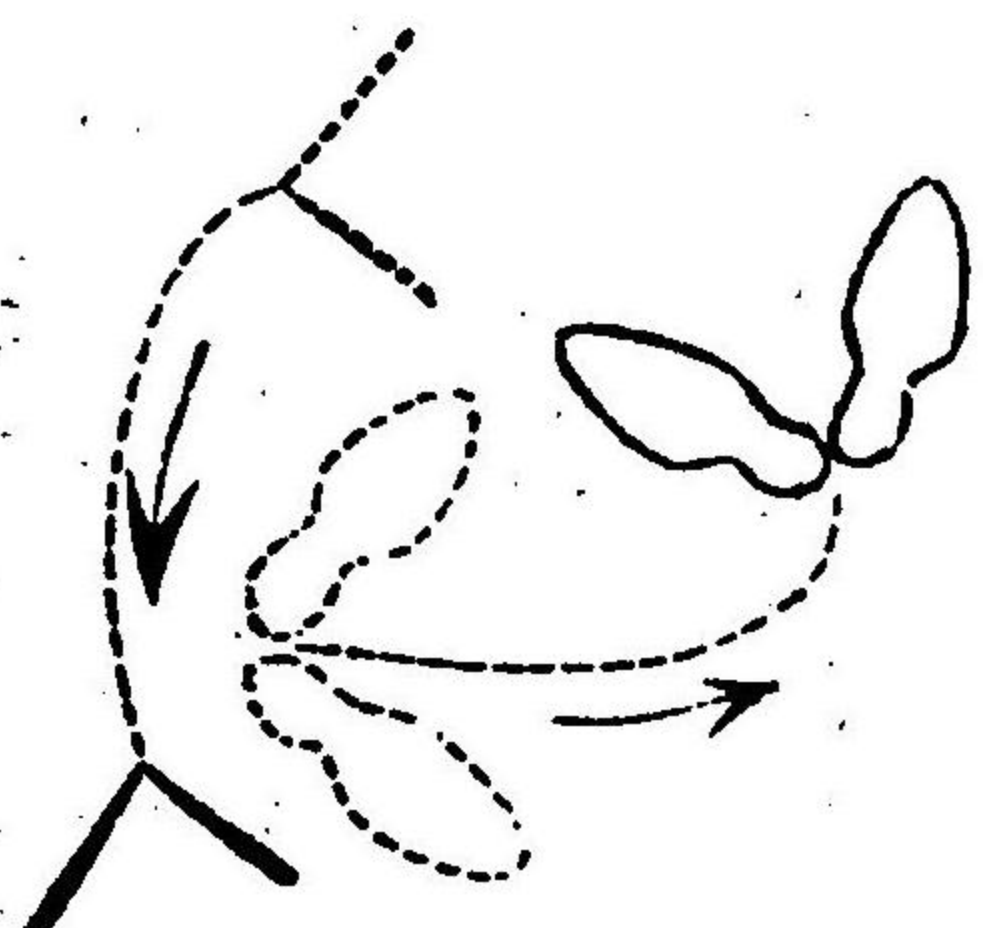
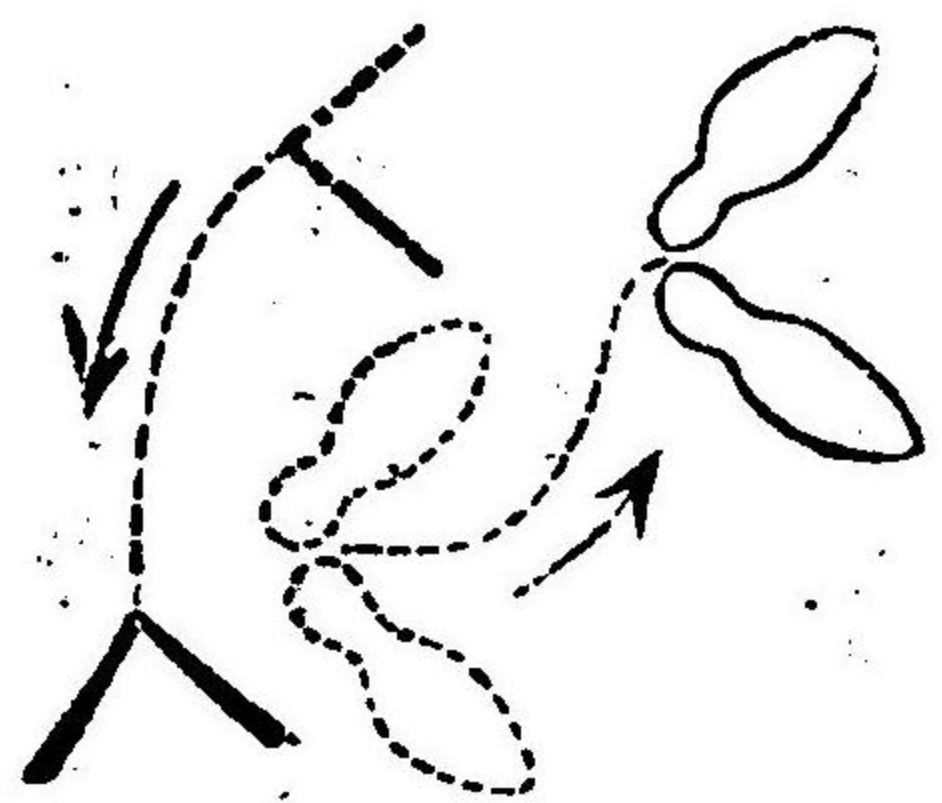
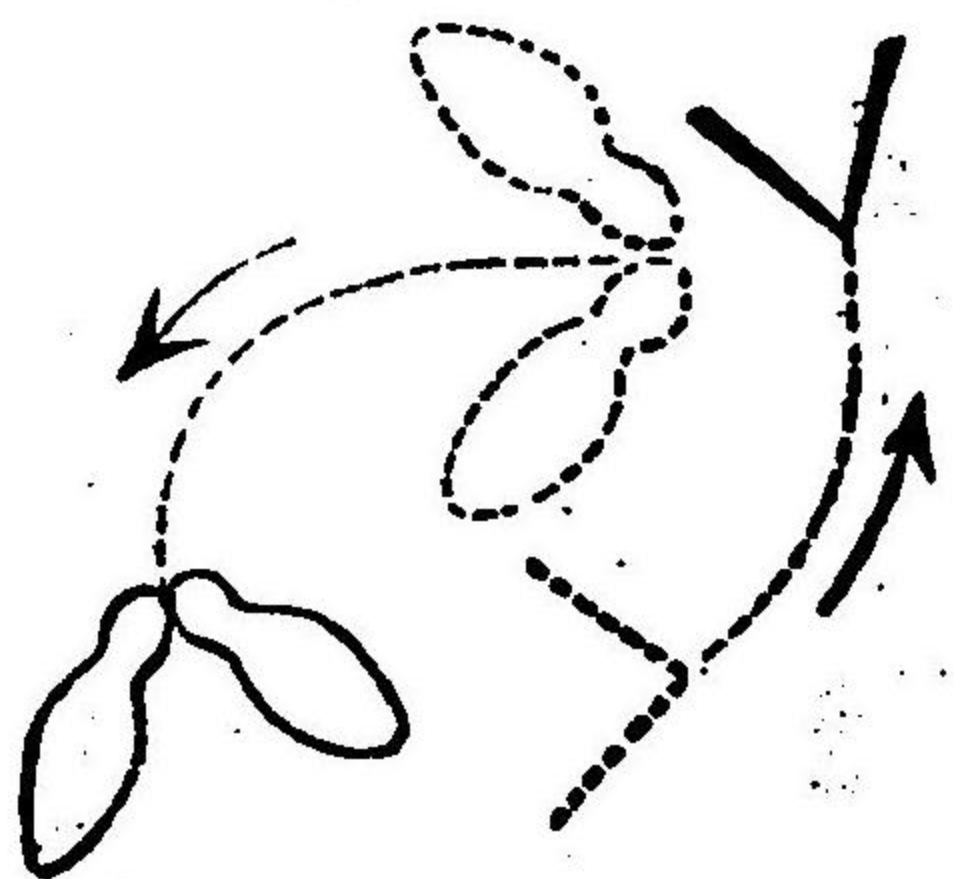
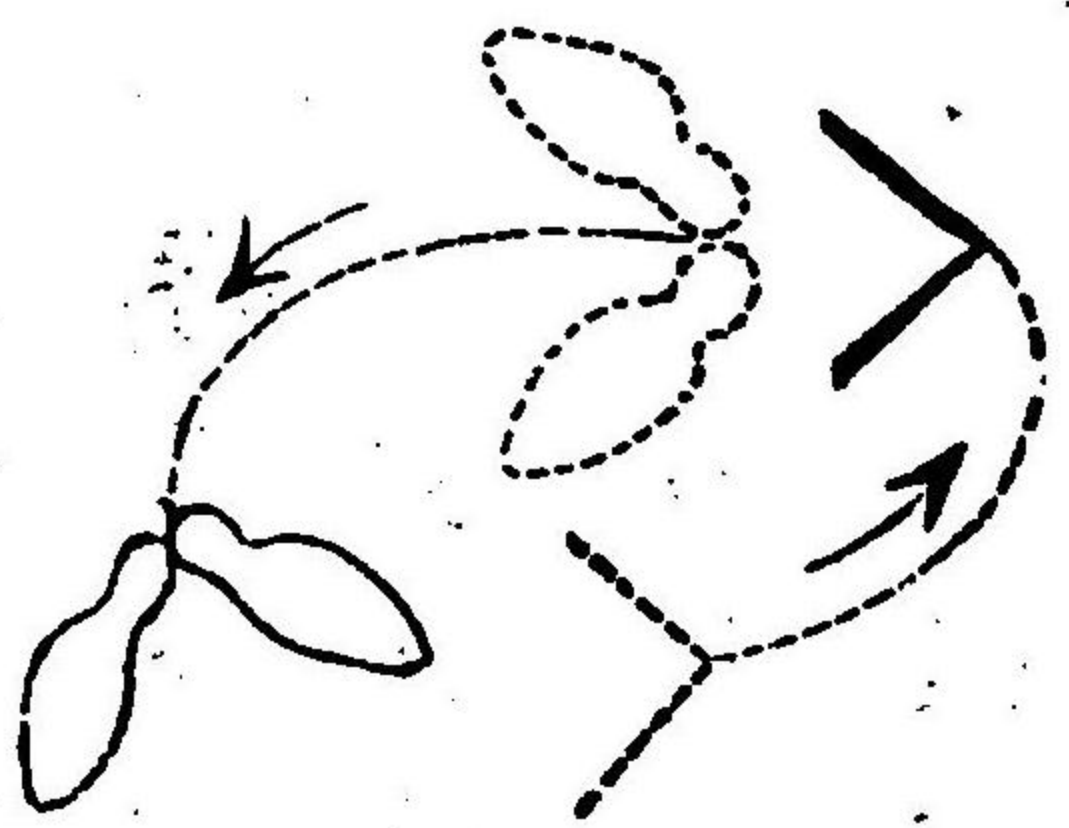
第一 十六呼間各自交叉(シヤッセ、クロアセ)默禮を行ふ

交叉默禮とは右生(内方へ)は半左の方向へ四呼間進み次の四呼間に左隣伍の左

(舞)

水

(舞)





生と黙禮し左生(外方へ)は半右の方向へ  
四呼間進み次の四呼間に右隣伍の右生  
と黙禮するを云ふ

又八呼間各自の位置を通り過ぎ右生(外  
方へ)は右隣伍の左生と黙禮す夫れと同  
時に左生(内方へ)は左隣伍の右生と黙禮  
するを云ふ

但し左右翼の者は隣伍なきに依り對

岸伍の翼生黙禮を行ふべし

第二 八呼間第一伍「フォーアバック」を行ふ

第三 八呼間第一伍の右生のみ一人にて對

岸第二伍の左側に往き第二伍の右生の左

手を右手にて

取り門を作る

準備をなす

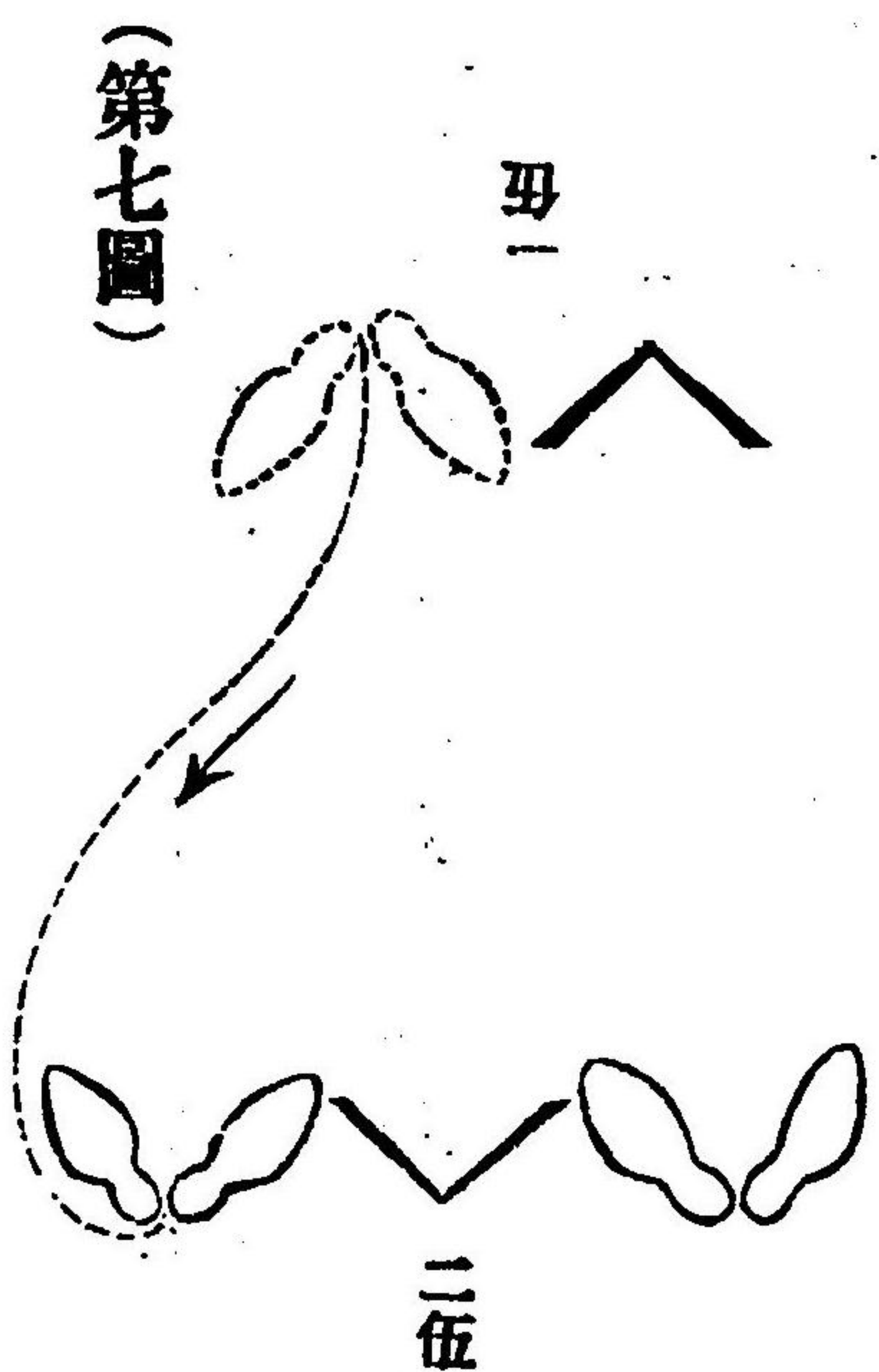
第四 八呼間

第一伍左生

の對岸に進

むと同時に

現在對岸の右生二人も豫て作りし





門の中を潜らす様に進みて位置を換ふ

但し第一伍の左生は第二伍左生の右側に着く

第五 八呼間第一伍の左生と第二伍の右生と現位置より互に相向ひ進みて互に左方を通る其位置を交換す

第六 八呼間各伍「バランス」を行ふ

第七 八呼間各自己れの伍の者と「ターン」を行ふ

以上六十四呼間の内十六呼間交叉黙禮をなしたる後第二伍より始め之を演舞す

### 第五演習

#### Aの部

十六呼間休止す

第一 八呼間第一伍「フォーア、バック」を行ふ

第二 八呼間第一伍の左生前進して第二伍の右側に着く

(兩左生は互に内側の手を右生の後方に繋ぎ外側の手は右生の左手と左手、右手と右手とを繋ぐ)



第三 十六呼間右生を中にして三人の「フ  
ーア、バック」を行ふこと二回

第四 八呼間第一伍の右生四歩にて對岸な  
る三人の前に進み皆黙禮をなす(皆少しく  
左方へ寄る)

第五 八呼間四人手を取り四呼間右回りし  
次の四呼間「ガロップ」をなし反對の位置に着  
く

第六 八呼間各伍「フーア、バック」を行ふ

第七 八呼間第一伍第二伍共に舊位置に復

る(第一演習第一の要領に同じ)

以上六十四呼間第二伍より始め之を演舞す

### Bの部

此動作はA部の兩左生右生を擁して「フ  
ーア、バック」をなしたるものを兩右生左生を  
擁して行ふの差あるのみ

但し對岸に着く時も反對側に着く  
十六呼間休止す

第一 八呼間第一伍「フーア、バック」を行ふ

第二 二十四呼間第一伍の右生前進して第



二伍の左側に着きA部第二、第三の要領に従ひ二回「フォーア、バック」を行ふ

第三 八呼間第一伍の左生四歩にて對岸なる三人の前に進み皆黙禮す(皆少しく右方へ寄る)

第四 八呼間其位置にて四人手を取り四呼間右回りし次の四呼間「ガロップ」をなし反對の位置に着く

第五 八呼間各伍「フォーア、バック」を行ふ

第六 八呼間第一伍第二伍共に舊位置に復

る(第一演習第一の要領に同じ)

以上六十四呼間第二伍より始め之を演舞す

### 第六演習

十六呼間休止す

第一 十六呼間各左生は右生を右側に連れて右向をなし「グラウンドプロネード」を行ひ終つて相對向す

(右向きして八呼間前進し左方へ回りにて舊位置に復らんとする時手を放ち舊位置に着き各伍左右生相對向す)



第二 八呼間己れの伍の者と相向ひて「バランス」を行ふ

第三 八呼間各伍右手を取り「ターン」を行ふ

第四 八呼間各伍「フォーア、バック」を行ふ

第五 八呼間各伍の右生位置を換へて對岸に着く

此際左生は中央まで右生を送り出し對岸の右生と右手を取り右回りして舊位置に連れ復る

(自伍右生の位置に置く)

第六 十六呼間「レデイス、チェイン」を行ふ

第七 八呼間各伍「フォーア、バック」を行ふ

第八 八呼間各伍同時に前進して右生を交換し舊位置に復る

(第五を參看すべし茲に於て全く舊位置に復る)

第九 十六呼間第一の如く「グラウンド、フロネ

ード」を行ひて皆舊位置に復る

第十 八呼間「バランス」を行ふ

第十一 八呼間各伍右手を取り「ターン」を



行ふ

第十二 八呼間各伍右生「フォーア、バック」を行ふ  
 第十三 八呼間各伍左生「フォーア、バック」を行ふ  
 第十四 八呼間各伍右生前進して四人にて  
 手を繋ぎ右方へ圓く旋回す

(八人を一組と見倣す)

第十五 八呼間同上の右生左方へ圓く旋回  
 す

第十六 八呼間同上の右生右方へ「ムリネ」を  
 行ふ(右手を取る)

第十七 八呼間同上の右生左方へ「ムリネ」を  
 行ひ終りに手を放つことなく右手にて自  
 伍の左生の右手を取る

第十八 八呼間十字形(八人にて)をなしたる

まゝ各自右足より「バランス」を行ふ

第十九 八呼間手繋を放ち己が伍の者と互  
 に右手を取り「ターン」して舊位置に復る

第二十 十六呼間又最初の如く各伍「グラン  
 ド、プロネード」を行ひ舊位置に復る

第二十一 八呼間己れの伍の者と「バランス」を



行ふ

第廿二 八呼間己れの伍の者と「ターン」を行ふ

第廿三 八呼間各伍左生「フォーア、バック」を行ふ

第廿四 八呼間各伍右生「フォーア、バック」を行ふ

第廿五 八呼間各伍左生前進して右手を取り右方へ圓く旋回す

第廿六 八呼間左手に取り替へ左方へ圓く旋回す

第廿七 八呼間互に右手を取り右方へ「ムリネ」を行ふ

第廿八 八呼間左手と取り替へ左方へ「ムリネ」を行ひ終りに手を放つことなく右手にて自伍の右生の右手を取る

第廿九 八呼間十字形(八人にて)をなしたるまゝ、皆右足より「バランス」を行ふ

第三十 八呼間手繋を放ち己れの伍の者と互に右手を取り「ターン」して舊位置に復る



第三十一 十六呼間四伍共に一團(八人)となりて「グラウンド、チエイン」を行ひ對岸にて自伍の者と右手と右手を取りて右回りし又來りし途を通りて舊位置に復る

第三十二 十六呼間各伍交叉黙禮を行ひて決了す 此際八人を一組として行ふ

(第四演習第一を参照すべし)

### 女子遊戯書(終)

明治三十九年五月二十日 印刷  
同 年五月廿五日 發行

(女子遊戯書奥付)  
(定價金拾五錢)

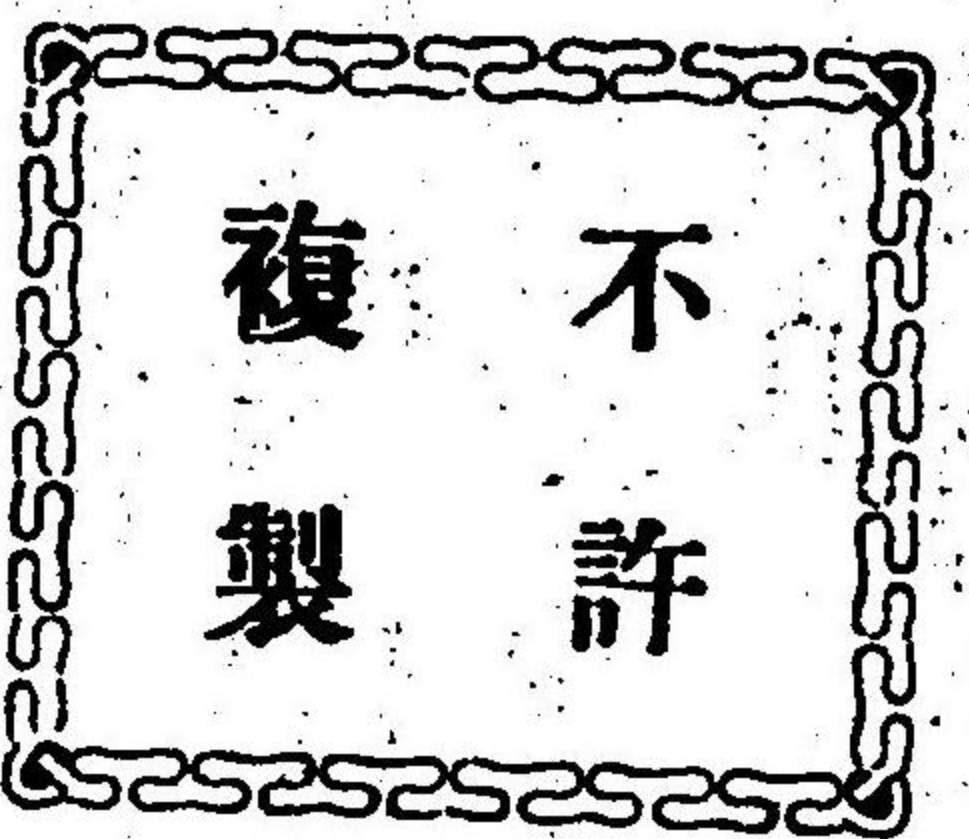
編纂者 體操遊戯講習會

右代表者 松田正典

發行者 東京市本郷區駒込四片町十番地 山縣操

印刷者 東京市京橋區築地二丁目二十番地 河本龜之助

印刷所 東京市京橋區築地二丁目廿一番地 光社



發行所

内外出版協會

東京市本郷區駒込四片町十番地

(電話下谷二四五三番)



講師 土取信子  
同 松田正典  
體操遊戯講習會  
校閱 松田正典  
編纂

# ●女子運動法

實價 金四錢五厘

販賣所

東京市淺草區永住町

永昌堂

松田正典先生著述

# ○机間體操法

定價 金貳拾錢

附室內遊嬉法

發行所

東京市下谷區西町三番地

人文社

東京府立第一高等女學校教諭松田正典先生編纂

# ●講習會用 小學遊嬉法

全近刊

發行所

東京市日本橋區本町三丁目  
大坂市東區船場四丁目

實文堂



# 新案 家族あはせ

第九版發行

一組金拾貳錢 \* 郵稅二錢 (郵券代用拾五錢)

此遊戲は誰にてもできる、老人ても子供ても假名さへ讀めれば仲間にはいれる。智慧のある者が勝つとは限らぬ、禮儀を知らぬ者は思はぬ敗北をとる。

此遊戲に加はる人数は五人以上十人以下が一番面白い、是迄我が國の遊戲は家族的でないとの非難があつたが、此遊戲は家内和樂の基礎となります。

禮儀がやかましくても面白くなくてはつまらぬ、此遊戲を試みて笑はずに居られるものがあつたら、金の延棒でも銀の茶釜でも、お望み次第進上の事。

面白くてもしだらなくてはならぬ。歌がたや花あはせとは全く其趣きを異にして風俗矯正の一端となるやうに仕組まれてある。

笑つて肥らうといふ者、甘い藥を服まうといふ者、効能は皆様の御實驗の上、値の廉いこと天下無比。

東京本郷區西片町十番地 内外出版協會 元版

講師 土取信子  
同 松田正典  
體操遊戲講習會  
校閱 松田正典  
編纂

## ●女子運動法

實價 金四錢五厘

販賣所

東京市淺草區永住町

永昌堂

松田正典先生著述

## ○机間體操法

定價 金貳拾錢

附室內遊嬉法

發行所

東京市下谷區西町三番地

人文社

東京府立第一高等女學校教諭松田正典先生編纂

●講習會用

## 小學遊嬉法

全近刊

發行所

東京市日本橋區本石町三丁目  
大阪市東區備後町四丁目

寶文館



文 學 士 君 の 塚 守 譯 述

# 良 人 の 選 定

全 二 冊

前編定價金貳拾錢 後編定價金拾五錢  
郵 稅 二 錢 宛

此書原本は以太利の名著にして  
今や歐米に於て盛に各國語に譯  
されつゝあるものなり

目次 **少女物語** 芳紀 ▲ 書物  
大要 **と空想夢と**

實 ▲ 初戀 ▲ 娘一人に婿三人 ▲ ど

うした **父の遺書** 如何に

ものか **良人の職業** 實業家

選定す **銀行**

べきか ▲ 製造業者 ▲ 地主 ▲ 美術家 ▲  
技師 ▲ 醫師 ▲ 辯護士 ▲ 文學者 ▲  
科學者 ▲ 政治家 ▲ 軍人 ○ 家庭外

東 京 本 郷 區 駒 込 四 町 十 番 地 内 外 出 版 元



1



特 63

211

禁  
複  
写

女子遊戯法

国立国会図書館

075428-000-6

特63-211

女子遊戯書

体操遊戯講習会 / 編

M39

CEM-0358

